SUPERBIKE EXPRESS

EXtra, EXpert and EXtreme

2018 All Japan Road Racing Championship Round 1
SUPERBIKE RACE in MOTEGI - SUPERBIKE EXPRESS 2018 VOL.1

2018 SUPERBIKE EXPRESS 01

JSB1000 ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP **QUALIFY to RACE1** OFFICIAL REPORT

圧倒的な強さ見せた中須賀克行がレース1を制す!
ケガから復帰の高橋巧が2位、清成龍一が大健闘の3位

今年は2013年以来、5年振りにツインリンクもてぎが開幕の舞台となり、全4クラス、そしてMFJ CUP JP250の全5カテゴリーが新しいシーズンを迎えた。

最高峰クラスのJSB1000クラスは、Hondaのワークスチーム、Team HRCが10年振りに復活し、話題を呼んでいるが、エースライダーの高橋巧が、3月上旬にトレーニング中に負傷し、2週間前の事前テストを走ることができずにレースウイークを迎えていた。

開幕戦ということもあり木曜日の特別スポーツ走行から始まり、金曜日のART走行と全セッションで速さを見せたのは、タイトル奪還に燃える中須賀克行だった。他のライダーが1分49秒台を切れない中、ただ一人、1分48秒台をマーク。2018年仕様のサスペンションを仕上げながら孤高の走りを見せつけていた。

公式予選は、ウエットコンディションとなり、ここで気を吐いたのがST600クラスからスイッチした星野知也だった。一時はリーダーボードのトップに立ったが、津田拓也、そして中須賀が星野を上回り、中須賀がポールポジションを獲得。津田拓也が2番手となるが、それでも星野は3番手と大健闘。全日本JSB1000クラスでBMW S1000RRを初めてフロントロウに導いた。2列目には高橋裕紀、野左根航汰、高橋巧、3列目にはヨシムラデビュー戦となる渡辺一樹、JSB1000デビュー戦となる水野涼、初日に転倒し左肩、左足を負傷している山口辰也と続いた。

その後、雨はほとんど止んだが、気温も低くウエットパッチが残るコンディションでレース1はスタートした。

ホールショットを奪ったのはセカンドグリッドの津田拓也。これに中須賀、高橋巧、星野、野左根航汰、高橋裕紀、渡辺一樹、水野、津田一磨、山口、加賀山就臣と続き、予選10番手グリッドスタートの清成龍一と続いていた。

オープニングラップをトップで戻って来たのは高橋巧。これを中須賀がピタリとマーク。星野が3番手に踏ん張り、高橋裕紀、野左根、津田拓也と続いて2周目に入って行く。3周目には中須賀がトップを奪うと、高橋巧、高橋裕紀、そして星野の4台がトップグループを形成。その後方からは、急激にポジションを回復してきた清成が迫り、逆に星野が遅れて行く。清成は4周目に星野と高橋裕紀をかわし3番手に浮上すると、5周目には4コーナーで高橋巧を、そしてヘアピンの進入でアウトから中須賀をかわしトップに浮上する。その直後の90度コーナーで中須賀が抜き返すが、立ち上がりで再び清成が前に出るとレースをリードして行く。

その後方では、秋吉耕佑が野左根をかわし6番手までポジションを上げていた。この直後を走っていた渡辺一樹だったが、9周目の90度コーナーへの進入でブレーキトラブルが発生し転倒リタイアとなってしまう。

トップ争いは、清成と中須賀の一騎打ちとなっていたが、11周目の4コーナーで清成がハイサイドに遭い、あわや転倒という場面だったが何とか持ちこたえる。これで中須賀がトップに立つと、そのまま独走し開幕戦を制した。2位には、レース終盤にファステストラップを出して追い上げた高橋巧が21周目に清成をかわして入った。以下、高橋裕紀、渡辺一馬、秋吉、山口、星野、津田一磨、津田拓也と続くトップ10となった。11位の中冨伸一をはさみ、もてローでおなじみの柴田義将が12位と健闘した。

レース2のグリッドは、予選のセカンドラップタイムとなり、中須賀がダブルポールポジション。2番手は野左根、3番手は津田拓也というフロントロウ。2列目には、高橋巧、高橋裕紀、そして星野が並ぶ。レース2も間違いなく中須賀が速いだろう。高橋巧やモリワキ勢、巻き返したいヨシムラ勢やカワサキ勢が、どこまで中須賀についていけるか？　天気予報は晴れとなっているが、最高気温は15度と低め。急な雨があれば、再び星野が速さを見せるかもしれない。23周で争われるレース2を制するのは誰だ!?

Text & Photo : Toshihiro Sato & SUPERBIKE.JP / Photo : H. Wakita / Issued by SUPERBIKE.JP©2018

JSB 1000 All JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

QUALIFY to RACE 1
REPORT, INTERVIEW & RESULT

RIDERS INTERVIEW

レース1:優勝/レース2:ポールポジション
#21　中須賀 克行
YAMAHA FACTORY RACING TEAM

『まずは、素直に勝ててうれしいです。去年は開幕2戦で転倒、ここツインリンクもてぎでも、2レースとも転倒していましたし、レースのコンディションもよくなかったので慎重に走りました。その中で清成選手が驚異的なペースで走っていたので、リスクを負いながらもついて行くのが精一杯でした。一進一退で最後は一騎打ちになるかと思っていましたが、清成選手が4コーナーでハイサイドで転倒しそうになったので前に出ることができました。そこからは路面の状況を見ながら自分の走りに集中してペースを上げて行きました』

レース1：2位
#1　高橋 巧
Team HRC

『ケガをしてしまい事前テストを走ることができずにレースウイークを迎えていました。今年のマシンに乗ったのが、初めてだったこともあり、毎セッション大きくセットを変えている状況でした。どうなるか不安な部分もありましたし、ケガもまだ癒えていなかったのでレースでは、リスクを避けながら、少しずつペースを上げて行きました。予選までを見ると表彰台に上がるのも難しいかと思っていましたが、最後に清成選手が前に見えたのでペースを上げられましたし、前でゴールできたので最低限の仕事はできたと思います 』

レース1：3位
#23　清成 龍一
MORIWAKI MOTUL RACING

『ウイークに入ってドライでは調子がよかったのですが、予選でウエットになってしまったので3列目までに並びたいとずっとプッシュしていたところ転倒してしまいました。大きなケガはなかったのですがマシンのダメージが大きく、レース直前までチームが懸命に修復してくれたのでグリッドに並ぶことができました。序盤ペースを上げやすいパッケージなのですが、逆に慎重になりすぎたのか順位を下げてしまっていました。そこからペースをつかむと中須賀選手、高橋巧選手に追い付いて、前に出ることができました。予想外の展開だったのですが、ハプニングもあったのに表彰台に上がることができたのは、よかったですし、チームに感謝したいですね』

決勝レース1公式結果

●4月7日（土）（23周）
天候：曇　コース：ウエット

Pos	No.		Name	Team	Machine	BestTime	Delay
1	21		中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	43'23.878	152.68km/h
2	1	8h	高橋 巧	Team HRC	CBR1000RRW	43'33.841	9.963
3	23		清成 龍一	MORIWAKI MOTUL RACING	CBR1000RR SP2	43'36.019	12.141
4	72		高橋 裕紀	MORIWAKI MOTUL RACING	CBR1000RR SP2	43'55.329	31.451
5	11		渡辺 一馬	Kawasaki Team GREEN	ZX-10RR	44'01.749	37.871
6	090		秋吉 耕佑	au・テルルMotoUP RT	CBR1000RR SP2	44'03.988	40.110
7	8	8h	山口 辰也	Team SuP Dream Honda	CBR1000RR SP2	44'20.893	57.015
8	46	8h	星野 知也	TONE RT SYNCEDGE4413	S1000RR	44'45.998	1'22.120
9	31	8h	津田 一磨	Team Baby Face	YZF-R1	44'54.423	1'30.545
10	12		津田 拓也	ヨシムラスズキMOTUL	GSX-R1000L8	44'54.651	1'30.773
11	14		中冨 伸一	HiTMAN RCKOSHIEN YAMAHA	YZF-R1	45'04.370	1'40.492
12	91		柴田 義将	リリカ AMENA	YZF-R1	45'05.603	1'41.725
13	35		近藤 湧也	JOYNET GBSレーシングYAMAHA	YZF一R1	45'05.957	1'42.079
14	25		生形 秀之	エスパルスドリームレーシング・IAI	GSX-R1000	43'24.087	1Lap
15	22		児玉 勇太	Team Kodama	YZF-R1	43'24.345	1Lap
16	34		岡村 光矩	KRP三陽工業&RS-ITOH	ZX-10RR	43'24.721	1Lap
17	20		日浦 大治朗	Honda Suzuka Racing Team	CBR1000RR SP2	43'27.502	1Lap
18	7		濱原 颯道	Honda Dream RT 桜井ホンダ	CBR1000RRSP2	43'37.069	1Lap
19	51		ザクワン・ザイディ	Honda Asia-Dream	CBR1000RR SP2	43'43.695	1Lap
20	17		渥美 心	TONE RT SYNCEDGE 4413	S1000RR	44'04.465	1Lap
21	71		加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	44'14.333	1Lap
22	44		樋口 耕太	H.L.O RACING	GSX-R1000	44'14.333	1Lap
23	15		松﨑 克哉	Kawasaki Team GREEN	ZX-10RR	44'20.819	1Lap
24	70	8h	清末 尚樹	チーム阪神ライディングスクール	ZX-10RR	44'48.963	1Lap
25	54		ブライアン・キム	TWO WHEEL KOREA SUPPLY	GSX-R1000R	44'52.100	1Lap
26	37		須貝 義行	チームスガイレーシングジャパン	RSV4 RF	44'52.688	1Lap
27	53	8h	清水 郁巳	Honda浜松エスカルゴ&DREAM高崎	CBR1000RR SP2	43'39.512	2Laps
以下フィニッシュライン不通過:							
28	5		野左根 航汰	YAMAHA FACTORY RACING TEAM #5	YZF-R1	32'39.119	6Laps
以上 規定周回数完走:							
	26		渡辺 一樹	ヨシムラスズキMOTUL	GSX-R1000L8	15'44.489	15Laps
	75		前田 恵助	YAMALUBE RACING TEAM	YZF-R1	12'13.851	17Laps
	43		中津原 尚宏	ATJ Racing	CBR1000RR	スタートできず	
	634		水野 涼	MuSASHi RT HARC-PRO.Honda	CBR1000RR SP2		

※8h:鈴鹿8耐トライアウト対象
BEST TIME　No.　1　高橋 巧　Team HRC　1'50.568　21/23　156.33km/h
規定周回数 17

JP 250

DUNLOP
Presented by
DUNLOP
http://jp250.superbike.jp/

田中敬秀(NAT)、豊島智博(INT)が優勝!

全日本ロードレース選手権と併催のMFJカップJP250選手権第1戦の決勝レースは、8台～10台の大集団となったトップ争い。しかし終盤のアクシデントで、田中敬秀、横山尚太、豊島智博ら5台の争いに変わり、最終周回のヘアピンで2位に浮上した豊島が90度コーナーで田中、横山を抑えてトップに立ち総合&インターの優勝を決めた。ナショナルの優勝は2位の田中。

決勝正式結果（10周／上位15位）

●4月7日（土）天候／予選 雨 ウェット・決勝 曇 ウェット　出走32台

Pos	No	Cls.		Rider	Team	RaceTime
1	11	I	1	豊島 智博	ライダーズサロン横浜	23'19.553
2	26	N	1	田中 敬秀	7CエムズホームWAKO'S+CAC=NTR	23'19.828
3	31	N	2	横山 尚太	PJ1・ガレージL8 RT&KT.plus	23'19.828
4	70	N	3	高橋 直輝	ライダーズサロン横浜	23'20.098
5	392	I	2	村瀬 健琉	ミクニ テリー&カリー	23'20.815
6	27	I	3	石井 千優	TONE RT 千葉北ポケバイコース+N-PLAN	23'24.361
7	9	I	4	森 俊也	Webike TRICK STAR RACING	23'46.022
8	30	I	5	前田 龍哉	伊藤レーシングGMDスズカ	23'52.752
9	35	N	4	小椋 華恋	PROPOWER Asia DOGFIGHTR・YAMAHA	23'52.752
10	56	N	5	櫻井 芽依	キジマKISSレーシングチーム	23'52.812
11	33	N	6	佐々木 將旭	GO&FUN Racing	23'53.055
12	12	N	7	清水 光則	クラブ1.2クシタニ川口	23'53.313
13	90	N	8	斉藤 魁	テルル・MotoUPレーシング	23'55.618
14	41	I	6	沖藤 陽一	ATJ Racing	23'56.228
15	20	I	7	笠井 悠太	TEAM TEC.2	24'00.582

ST600 ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
ST600 Official Tire
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

上和田拓海、難しい状況で全日本初ポール

ライバルとの差を詰めて決勝レースはしっかり闘いたい

ST600クラスの公式予選は、雨が落ち着き、路面が少しずつ乾いていくという、タイヤ選択やアタックのタイミングなど難しい状況でのセッションとなった。

序盤から奥田教介、長尾健吾、柴田陸樹らが2分05秒あたりのタイムから始まり、周回と時間が経過するに従って、徐々にタイムも上がって行く展開となった。中盤に入ると、事前テストのウェットコンディションで速さを見せていた行村和樹も上位に食い込み、路面も乾いてくる中で順位も激しく入れ替わる。

しかし、チェッカーが提示された周にドライタイヤで勝負に出ていた上和田拓海が2番手を1秒以上離す2分01秒755で全日本初ポールポジションを獲得した。2番手にはさらにタイムを03秒040へと上げた行村、奥田が03秒163で3番手となった。

ポールポジション:2分01秒755
#40　上和田 拓海
Team Plusone

『チームもとても良い雰囲気だし、伸び伸びできているというのが実感です。予選は路面も乾き始めてくる中でのスタートだったので、難しいコンディションでしたが、最初はレインタイヤで出たのですが、早めに乾くと予想して切り替えました。それで、終盤にドライタイヤで長く走れるようにして、最終ラップだけでアタックしようと考えたんです。替えた当初は我慢ですが、自分のペースを作っておいて乾いてくればイケる!と、その読みが当たりました。ドライではまだライバルと差はありますが、明日のフリーでそれを少しでも無くして、決勝ではしっかり走りたいと思います』

J-GP2 ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

名越哲平、全日本初ポールポジション!

ドライコンディションで優勝を決めたいですね!!

午前中の最後で雨は小康状態ながらも路面は完全にウェットとなったJ-GP2公式予選セッション。

開始当初からトップに立ったのは、今年からクラスをスイッチして前年チャンピオンの後を引き継いだ形の名越哲平。2番手以降には三原壮紫、伊達悠太、石塚健、岩戸亮介らがタイムを更新しながら順位を入れ替えるが、名越もセッションが進むに連れてタイムアップを繰り返し、最終的には2分02秒646で、全日本初ポールポジションを決めた。

2番手には02秒857で岩戸、3番手には終盤にかけてベストを刻んだベテランの関口太郎が03秒268で入った。4位に尾野弘樹、伊達悠太、石塚健とクラスルーキー、若手が続く。

ポールポジション:2分02秒646
#634　名越 哲平
MuSASHi RT HARC-PRO.

『レースウィークに入ってから初めての雨のコンディションになって、(昨年のチャンピオンマシンなので)水野選手に細かくアドバイスをもらったのが良かったです。もともと雨は苦手な方だったんですが、昨年は全日本選手権とアジア選手権で色々なマシンやシチュエーションを経験したことで、自分の中でもかなら苦手意識は無くなって来ていましたし、全日本で初ポールなのでとても嬉しいです。明日はドライコンディションで優勝を決めたいですね』

J-GP3 ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

菅原陸、ウェットで逆転初ポールポジション!

決勝では自分なりに頑張って上位に食い込みたい

朝からサーキット周辺では小雨が降り続き、J-GP3の公式予選時にはより激しさを増してきた。その中でセッションの序盤から小室旭がトップをキープ、菅原陸、福嶋佑斗、太田虎之進らのフレッシュな面々が続き、チャンピオン経験者藤井謙汰も上位に付ける。

後半に入ると古市右京、宇井陽一らも順位を上げてくるが、小室はタイムを更新し続けてトップをキープする。後ろに続くライダーたちも続々とタイムを刻んでくるが逆転することはできない。

ところが最後の最後に菅原が小室のタイムを0.2秒上回る2分13秒562をマークして初ポールポジションを獲得した。2番手に13秒747小室、14秒1で3番手に太田と続く。セカンドロウは岡谷雄太、中島元気、福嶋佑斗の若手が占めた。

ポールポジション:2分13秒562
#93　菅原 陸
RG NIWA with DOGFISH Racing

『自分ではもう少しタイムは伸ばせたかな、という感覚はありますが、まずはポールポジションを獲れたので自分なりに満足しています。実はレインコンディションはまだ2回目なんです。3月の事前テストで初めてレインタイヤを履いたのでもっと滑るかと思っていましたが、もともとダートが得意なので、タイヤのお陰もあって安心して攻めることができました。でも自分でもタイムが出ていないと思っていたのですが、戻ってみるとトップなので、自分が一番驚きました(笑)。決決勝は晴れたら自分なりに頑張って上位に食い込みたいです』

MFJ Superbike Round 1 SUPERBIKE RACE in MOTEGI 7 - 8 April 2018 公式予選結果

ISB 1000

●予選：天候／雨 路面／ウェット 出走35台
●決勝スタート／14:30（23周）

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	21	中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	1'59.025
2	5	野左根 航汰	YAMAHA FACTORY RACING TEAM #5	YZF-R1	1'59.459
3	12	津田 拓也	ヨシムラスズキMOTUL	GSX-R1000L8	1'59.512
4	1	高橋 巧	Team HRC	CBR1000RRW	1'59.701
5	72	高橋 裕紀	MORIWAKI MOTUL RACING	CBR1000RR SP2	1'59.761
6	46	星野 知也	TONE RT SYNCEDGE4413	S1000RR	2'00.306
7	26	渡辺 一樹	ヨシムラスズキMOTUL	GSX-R1000L8	2'00.459
8	634	水野 涼	MuSASHi RT HARC-PRO.Honda	CBR1000RR SP2	2'00.895
9	8	山口 辰也	Team SuP Dream Honda	CBR1000RR SP2	2'01.000
10	23	清成 龍一	MORIWAKI MOTUL RACING	CBR1000RR SP2	2'01.116
11	75	前田 恵助	YAMALUBE RACING TEAM	YZF-R1	2'01.655
12	25	生形 秀之	エスパルスドリームレーシング・IAI	GSX-R1000	2'01.873
13	090	秋吉 耕佑	au・テルルMotoUP RT	CBR1000RR SP2	2'01.919
14	11	渡辺 一馬	Kawasaki Team GREEN	ZX-10RR	2'02.009
15	7	濱原 颯道	Honda Dream RT 桜井ホンダ	CBR1000RRSP2	2'02.069
16	31	津田 一磨	Team Baby Face	YZF−R1	2'02.181
17	14	中冨 伸一	HiTMAN RCKOSHIEN YAMAHA	YZF-R1	2'02.359
18	15	松﨑 克哉	Kawasaki Team GREEN	ZX-10RR	2'02.848
19	91	柴田 義将	リリカ AMENA	YZF-R1	2'03.249
20	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	2'03.309
21	20	日浦 大治朗	Honda Suzuka Racing Team	CBR1000RR SP2	2'03.395
22	22	児玉 勇太	Team Kodama	YZF-R1	2'03.702
23	43	中津原 尚宏	ATJ Racing	CBR1000RR	2'03.714
24	35	近藤 湧也	JOYNET GBSレーシングYAMAHA	YZF−R1	2'04.155
25	70	清末 尚樹	チーム阪神ライディングスクール	ZX-10RR	2'04.561
26	34	岡村 光矩	KRP三陽工業&RS-ITOH	ZX-10RR	2'04.871
27	51	ザクワン・ザイディ	Honda Asia-Dream	CBR1000RR SP2	2'05.243
28	53	清水 郁巳	Honda浜松エスカルゴ&DREAM高崎	CBR1000RR SP2	2'05.245
29	54	ブライアン・キム	TWO WHEEL KOREA SUPPLY	GSX-R1000R	2'05.693
30	17	渥美 心	TONE RT SYNCEDGE 4413	S1000RR	2'06.313
31	37	須貝 義行	チームスガイレーシングジャパン	RSV4 RF	2'06.343
32	44	樋口 耕太	H.L.O RACING	GSX-R1000	2'07.287

以上予選通過車両:
予選通過基準タイム（108 %） 2'08.145

ST 600

●予選：天候:曇 路面／ウェット 出走34台
●決勝スタート／15:50（18周）

Pos.	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	40	上和田 拓海	Team Plusone	YZF-R6	2'01.755
2	17	行村 和樹	TOHO Racing Club	CBR600RR	2'03.040
3	57	奥田 教介	Team MF & Kawasaki	ZX-6R	2'03.163
4	230	小山 知良	日本郵便HondaDream	CBR600RR	2'03.247
5	16	長尾 健吾	善光会TEAMけんけん+BEE	YZF-R6	2'03.367
6	58	柴田 陸樹	SPEED MASTER&RS-ITOH	ZX-6R	2'03.380
7	8	名越 公助	GBS YAMAHA マツエセブン忠男	YZF-R6	2'03.504
8	55	國峰 啄磨	日本郵便 HondaDream	CBR600RR	2'04.134
9	11	亀井 雄大	Honda Suzuka Racing Team	CBR600RR	2'04.387
10	51	岡本 裕生	51ガレージ チームイワキ	YZF-R6	2'04.512
11	71	上原 大輝	Mistresa RT HARC-PRO.	CBR600RR	2'04.578
12	97	佐野 優人	BATTLE FACTORY	CBR600RR	2'04.705
13	23	中村 豊	MOTOBUM	CBR600RR	2'04.797
14	44	平野 ルナ	TEAM ENDLESS by SHANTI SSM	CBR600RR	2'04.899
15	14	仲村 優佑	AKENO SPEED・YAMAHA	YZF-R6	2'04.988
16	18	杉山 優輝	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	2'05.118
17	98	佐野 勝人	TEAM VITALSPIRIT	CBR600RR	2'05.120
18	41	梅田 虎太郎	MOTOBUM HONDA_REVES	CBR600RR	2'05.206
19	43	中山 耀介	TEAM SHOTA	YZF-R6	2'05.228
20	26	西嶋 修	チーム阪神ライディングスクール	ZX-6R	2'05.606
21	090	中村 龍之介	au・テルルMotoUP RT	CBR600RR	2'05.820
22	420	亀井 駿	日本郵便HondaDream	CBR600RR	2'05.867
23	9	南本 宗一郎	AKENO SPEED・YAMAHA	YZF-R6	2'06.090
24	45	丹羽 貴大	OZT Racing with YSP名古屋西	YZF-R6	2'06.444
25	35	長嶋 修一	大道建設モトアルファ	YZF-R6	2'06.692
26	12	古山 颯太	伊藤レーシング	YZF-R6	2'06.844
27	52	関野 海斗	51ガレージ チームイワキ	YZF-R6	2'07.305
28	36	櫻井 賢一	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	2'07.313
29	34	宮脇 寿郎	ファイヤーワークス&T-PRO inc	ZX-6R	2'07.521
30	28	松川 泰宏	MOTOBUM HONDA+SAI	CBR600RR	2'07.633
31	72	比企 徹	SPEED MASTER&RS-ITOH	ZX-6R	2'07.741
32	59	若松 宏	Team YSP 三鷹&ジェス	YZF-R6	2'08.175
33	77	マッテア・スカリアリーニ	Team KAGAYAMA・ITALIA	GSX-R600	2'08.179

以上予選通過車両:

34	38	小山 葵	AKENO SPEED・YAMAHA	YZF-R6	計測できず

予選通過基準タイム（108 %） 2'12.464

J-GP3

●予選：天候:雨 路面／ウェット 出走25台
●決勝スタート／10:40（20周）

Pos.	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	93		菅原 陸	RG NIWA with DOGFISH Racing	NSF250R	2'13.562
2	71		小室 旭	Team P.MU 7C MIKUNI	NSF250R	2'13.747
3	30		太田 虎之進	WJ-FACTORY	NSF250R	2'14.124
4	61		岡谷 雄太	MORIWAKI CLUB	NSF250R	2'14.762
5	4		中島 元気	TEAM SRS-Moto	NSF250R	2'15.038
6	36		福嶋 佑斗	Team Plusone	NSF250R	2'15.061
7	3		古市 右京	KTM . ASPIRATION RACING	RC250R	2'15.450
8	90		藤井 謙太	au・テルルMotoUP RT	NSF250R	2'15.662
9	41		宇井 陽一	41Planning	TR-004	2'15.828
10	32		檜山 拓実	WJ-FACTORY	NSF250R	2'16.898
11	33		中山 愛理	TEAM SHOTA	NSF250R	2'17.190
12	12		山本 恭裕	チームライフ・ドリーム北九州	NSF250R	2'17.849
13	59	S	五十嵐 翔希	ライダーズサロン横浜	NSF250R	2'18.348
14	6		安村 武志	犬の乳酸菌.jp/プリミティブR.T	PRCS3d	2'18.652
15	13		長谷川 聖	CLUB Y's &J	NSF250R	2'18.700
16	19		白石 玲菜	Dreamline Team REINA	NSF250R	2'18.700
17	55	S	有田 光	Team RSC	NSF250R	2'18.712
18	15		岡崎 静夏	Kohara Racing Team	NSF250R	2'18.718
19	16		高杉 奈緒子	41Planning	NSF250R	2'19.110
20	81		セナ・アジウス	MORIWAKI CLUB	NSF250R	2'19.117
21	34		村田 憲彦	CLUB Y's &J	NSF250R	2'19.228
22	17		野澤 秀典	ノザワレーシングファミリー	NSF250R	2'19.520
23	45		鈴木 孝志	41Planning	NSF250R	2'19.603
24	20		畑中 要	FTR・タイヤナビ・㈱遠藤住宅	NSF250R	2'20.251
25	29		鈴木 大空翔	BATTLE FACTORY	NSF250R	2'20.804
26	53	S	山田 尚輝	team hiro'ck&HARC	NSF250R	2'20.827
27	27		川瀬 啓一郎	club NEXT & KOHSAKA	TSR3	2'23.854

以上予選通過車両:
※S:特別参加枠対象ライダー
予選通過基準タイム（108 %） 2'24.515

J-GP2

●予選：天候:雨 路面／ウェット 出走20台
●決勝スタート／13:05（22周）

Pos.	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	634	名越 哲平	MuSASHi RT HARC-PRO.	HP6-q	2'02.646
2	4	岩戸 亮介	Team 高武 RSC	MD600	2'02.857
3	44	関口 太郎	SOX Team TARO PLUSONE	HP6	2'03.268
4	392	尾野 弘樹	ミクニ テリー&カリー	GSX-R600	2'03.371
5	64	伊達 悠太	KIMA Racing	HP6	2'03.784
6	7	石塚 健	will-raise racingRS-ITOH	ZX-6R	2'03.995
7	70	岩﨑 哲朗	OGURA CLUTCH with RIDE IN	ZX-6R	2'04.141
8	10	クボ・ケミン	伊藤レーシング	YZF-R6	2'04.237
9	34	榎戸 育寛	Kohara Racing Team	KALEX	2'04.449
10	25	伊藤 勇樹	伊藤レーシング	YZF-R6	2'04.559
11	36	徳留 真紀	マルマエPLUSONE	SPEED-UP	2'04.641
12	090	中村 修一郎	au・テルルMotoUP RT	KALEX	2'04.890
13	16	作本 輝介	Team 高武 RSC	MD600	2'05.089
14	71	三原 壮紫	TONE RT SYNCEDGE4413	HP6	2'05.180
15	30	阿部 恵斗	ウェビックチームノリックヤマハ	ヤマハ YN6	2'05.224
16	12	大木 崇行	Kohara Racing Team	HP6	2'07.033
17	29	和田 留佳	will-raise racingRS-ITOH	ZX-6R	2'07.228
18	32	井手 翔太	HiTMAN RCKOSHiEN YAMAHA	YZF-R6	2'09.409

以上予選通過車両:

19	31	豊島 怜	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	YZF-R6	2'13.451
20	20	山内 宏之	立秋モータース&RC甲子園	YZF-R6	2'24.738

予選通過基準タイム（108 %） 2'12.757

INFORMATION

RIDE & DRIVE 全日本ロードレース& 全日本モトクロスを無料放送

MFJが管轄するロードレース、モトクロスの各全日本選手権シリーズ全戦が、無料BS放送のBS12（番組名「RIDE&DRIVE」）で、モーターサイクルスポーツバラエティとして放送! 放映日時は毎月最終金曜の21:30〜22:00になりました。
★詳しい放映スケジュール等はファンサイトで！
《放映スケジュール》
12月の総集編まで毎月最終金曜の21:30〜22:00に放送!!

BS12 TwellV

インターネットライブ中継&動画配信も充実!!

MFJ Live CHANNEL

全日本ロードレース選手権は全戦・全クラスの予選・決勝をライブ配信! 今年からカメラ位置・アングルを充実、より迫力ある映像をお届けします。※通信環境によりディレイ配信となる場合もあります

YouTube YouTube「MFJ SUPERBIKEオフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!

詳しくはファンサイトで → http://superbike.jp/